



2017. 4月第581号

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもってみ前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

自分では若いつもりでいても、もう50を半ば過ぎようとする今、かつてのようにはいかならない自分を思い知ることがある。先日、映画館でチケットを買おうとしたとき、うら若きカウンターの女性に、「シニア割引ですか」と聞かれて大変ショックを受けた。髪の毛も、随分と白いものが混じり出し、顔も昔から老けて見られることの多かったのだが、いざ60歳以上のシニア割引を勧められると、気分が悪い。「いいえ違います」とはつきりと答えたものの、なんだか後味の悪い思いをしたのだった。

瞑想

白髪の人の前では起立し、長老を尊び、あなたの神を畏れなさい。わたしは主である。

「アンチエイジング」などという言葉が、いつの間にか市民権を得、いつまでも若々しい姿こそが最高の幸せであるともてはやされ、数々のサプリメントや健康器具が毎日のように宣伝される。いつまでも健康で若々しくいること、それ自体は良いことに違いないが、なんだか、年老いて、元気でないものは価値がないという裏返しの声になって響いてくるのは私だけではないだろう。かく言う私も、少しでも若く見られようと、着る服の色や形を気にしているのだから、始末

が悪い。老いることへの恐怖と、いつまでも若くいることへの憧れ。それは一見すると豊かな時代を生きる私たちの姿なのである。一方、超高齢社会と言われる日本全体が、高齢者に対し、優しく親切であるとはとても言いがたいのではないか。施設や建物、制度は完備されているように見えるけれど、肝心の心の部分が自分の力を頼み誇るので

主幹牧師 榎本 恵

レビ19:32

ラエルの民が、聖なるものとなるための日常的、宗教的な掟や法を教えたもの」(新共同訳注解)が数多く取められている。老人の前で、起立をすることは、ただ老人を労わり、敬老せよということだけではなく、そのことによって、自らを聖別し、神を畏れることなのだ。そのことを通し、人が自分の力を頼み誇るのでなく、本当に主を畏れ、主を敬うものかどうか戒めることなのである。同志社大学神学部の石川立教授は、十戒の中の第五戒「あなたの父母を敬え」についてこんなことを書いています。「第五戒でイメー

年9月号)

だから。

第47回呉アシュラムに参加して

山田春美

主題聖句 『十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであつても、救いを受ける私たちに、神の力です。』(1コリント1:18)



加しました。

「教会の中に霊の交わりを取り戻そう。」初めに、神様はこう追ってくださいました。

「アシュラムに参加した理由は何か、何を願ひ、何を必要としているのか。」と問われた時、私は教会の一致を願ってここに来たのだと示されました。

静聴は、コリント人への手紙第一第一章、第二章からでした。『私は、私たちの主イエス・キリストの御名によつて、あなたがたにお願いします。どうか、みな一致して、仲間割れすることなく、同じ心、同じ判断を完全に保ってください。』(1コリント1:10) 教会総会に向けて、神様が私にくださったお言葉でした。皆が心を一致させ、同

じ心を持って祈っていただくことが私の願いであり、主が私に求めておられることでした。そのため祈る者に変えていただけるよう願いました。

アシュラムの最後に、全員で輪になり手を取り合つて「神共にいまして」を讃美しました。私は、この光景を目前にして「わあ!!」と歓声をあげまし

た。そこには牧師、信徒の違いもなく、円の中心に主がおられました。第47回呉アシュラムは大きな実を結びました。

『誇る者は主にあって誇れ。』(1コリント1:31) 私たちは3つの地区で礼拝を守っていますが、主にある「心の一致」を確信いたしました。

総会前にアシュラムがあったことは、神様の大きな恵みと祝福の「時」でした。

『水がめに水を満たしなさい。』(ヨハネ2:7) 『深みに漕ぎ出して、網をおろして魚をとりにさい。』(ルカ5:4) 主のお言葉ですから、お従いさせていただきます。

呉教会

「主のみ手に支えられて」

使徒 13:36 前半 (口語訳)

(第42回 年頭アシュラム 奨励 要約) 神原 喜三郎

新会堂の建築

会堂も築60年と老朽化し、また狭くなってきたこと。教会に隣接している京阪電車が高架になり、下に幅9m道路が出来ると、更に枚方市の下水工事が始まる事などから、すっきりと会堂の内外を整え、たとえ小さくても地域社会に対しても会堂の存在を通して伝道していきたいと願ひ、新会堂を建築することにしました。そして多くの人の祈りと尊い捧げ物によって、1994年に新しい会堂が建築され、翌年の5月、神様と多くの人に祝福され、献堂式の時をもつことが出来ました。

マラナ・夕教会を辞任する。

教会創立25周年を記念して長い間念願だった教会墓地の建立を無事に終えた時、「ここでの使命は終わった」という思いが私の心をよぎりました。祈って行く中で神様から、もう一度開拓伝道をするようにと示され、2004年3月をもって23年ご奉仕させていただいたマラナ・夕教会を辞任しました。そして神様は私達のために兵庫県明石市の高台にある一等地で、100坪の敷地に50坪の庭がついた二階建ての家を備え、大家さんが「家賃はいらぬから、伝道のために使って下さい」と貸して下さいました。こうして私達は神様に感謝しながら、明石の地でご近所の方との信頼関係を築きつつ、良い交わりをもたせていただいています。

- ご献金者 敬称略
- 1月分
- 良羅 多美
- 宜和 由美
- 順美 哲造
- 平和 つ子
- 美和 和子
- 高橋 朋子
- 阪神 ミニアシュラム 福岡聖書教室
- 長澤 洋子
- 榎本 和子
- 榎本 てる子
- 市川 紳司
- 明石シオン 寺尾 貞亮
- ブラジル アシュラム
- 村瀬 俊夫
- 持田 二郎
- 持田 裕子
- 吉田 志美子
- 植松 喜美子
- 越智 千歳
- 上村 京子
- 山田 喜久子
- 香川 孝子
- 正岡 リッコ
- 井原 利男
- 横山 晋次
- 山岡 義明
- 熊野 テイ子
- 小田 美津江
- 武曾 晴美
- 渡辺 美寿子
- 村上 勇
- 常任運営委員会 Ms.Kazumi Itani
- 沖田 朝子
- アライアンス 呉教会
- ちいらば教団記念 チヤイム
- 夕礼拝部上 チヤイム
- コンサート (池田 チヤイムの会)
- 佐川 君江
- 倉橋 友江
- 吉岡 行子
- 大坂聖書教室 無名氏
- 吉川 禮子
- 岩波 久一
- 藤 萬里子
- 沢田 育世
- カフェ ちいらば聖書 入門講座
- 大山 悠子
- 榎本 恵子
- 榎本 康子
- 榎本 光太

アシュラム修道場生活記 その3「るんるん福音食堂」

伊達 平和

「同じ釜の飯を食う」という言葉がある。共同体の成員が同じものを食することによって、帰属意識や結束を高めることの意である。アシュラムセンターでは、火～土の毎朝6時(冬は6時半)から早天祈祷会を行い、朝ご飯を食べる。このおいしい朝ご飯をいつも用意してくれるのが、るっちゃんこと、榎本保郎牧師の長女である橋本ルツ子さんである。初めて私を玄関先で迎えてくれた時、鮮やかな紅い上着を身にまとうその風貌から、「紅っ!」と、只者ではないオーラを感じたのであるが、そのバイタリティたるや日々驚かされている。センターには個性豊かな人々が集っているが、バラバラにならないで、緩やかにつながっていけるのは、日々の祈りの生活に加え、同じ釜の飯を食っていることによるのかもしれない。

るんるん福音食堂の効果は絶大である。大学から一人暮らしをはじめた私にとって、一人の朝ご飯は寂しいものであった。しかしここでは、仕事前に毎朝人と会って祈りあい、飯を食べることで食欲も満たされ、また霊的にも満たされる。欲求の5段階説を唱えた心理学者のマズローによると、人々の欲求の根幹には生理的欲求、つまり食欲や睡眠欲といった生物としての基本的な欲求があり、そこから次の欲求段階に移行するというが、この生理的欲求が満たされることは、早天祈祷会に出席する動機として非常に重要である。「めしだ!起きよう!」。そう思うと自然と目が覚め、寒くても雨でも、早天祈祷会に出席できる。

この動機は不純だろうか。そうだ、不純だ。しかし、朝ご飯があるからと言って、毎日早天祈祷会のために起きてこられるものだろうか。話をきいてみると、どうやらこのように出てこられるのは稀であるらしい。他にも朝から讃美歌が歌えるから、恵先生の話が聞けるからと、

理由はつけられるのだが、ここは「神の不思議な働きによって」ということにしておきたい。クリスチャンホームに生まれた私は毎週なんとなく教会に行き、いけない日はいやいや親に夕礼拝に引っ張っていかれ、大学生からは月に1・2回聖書を読めば多いほうであった。そんな私がるんるん福音食堂でご飯を食べているうちに、いつの間にか聖書を読むことが日課になっている。時々、何か騙されたような気持になる時も無きにしも非ずであるが、不思議なことに、「まあいいか」と思えてしまう。

早天祈祷会の締めくくりは、アシュラムの友の誕生日を覚えて祈りを捧げている。誕生日カードには各自の祈りの課題が書かれているが、「家族が導かれるように」と祈っている方は多い。「教会に行きなさい」「聖書を読みなさい」。そう言うほど離れていってしまう経験をしている方も多いただろう。もちろんそのように祈ることは大切であるが、もしそのことで自身の心が乱されているようであれば、一步退いて「そっと見守る」のもよいのではないか。どんなに勧められようとも、最終的にはその人が神との関係を作っていかなければいけない。私がそうだったように、御心であるならば「出会い」はいつかやってくるだろう。親世代には、健やかに、そして安らかに信仰生活を送ってほしい。「神のなさることは時になんて美しい」。

最後に一言。るっちゃんのるんるん福音食堂は、月に1回、日曜にセンターで行われる夕礼拝(4月は16日)でも開かれている。また、ゲストハウス、アンナ祈りの家に泊まって早天祈祷会生活に参加することもできる。心が乱されることの多い世の中、共に祈り、聖書に静聴する時間を持ちたい人がいれば、(宿泊希望の方はセンターにご一報の上)是非近江八幡に遊びに来てほしい。



アシュラムセンター修道場Facebookページができました!
<https://www.facebook.com/ashram.monastery/>
 生活記「番外編」や修道場の風景をお楽しみください。

隅田 寿子
 吉田すみえ
 板美林
 リトリート
 アシュラム
 センター
 聖書教室
 鹿見島
 キリストの教会
 高松西
 キリスト教会
 喜多川啓子
 山田 和子
 湯野 静子
 静岡聖書教室
 安仲 萌子
 浜本百合子
 東京聖書教室
 脇 万里子
 米田 康子
 米田 歌子
 和田 智政
 西田和可子
 後宮 俊夫
 後宮 松代
 片山 良明
 尾島 江子
 鹿屋
 キリスト教会
 山本 徳文
 山本多賀世
 黒見 妙子
 堺大浜
 キリスト教会
 79口
 ￥1,195,787
 榎本保郎牧師
 召天40周年記念
 事業のために
 村主 由美
 鹿屋
 キリスト教会
 杉山ミユキ
 3口
 ￥25,000
 ヨセフ基金
 ちいらば
 牧師記念
 チャペル礼拝
 ちいらば
 アッちゃん・
 シュラム君
 吉田すみえ
 センター
 聖書教室
 年額アシュラム
 6口
 ￥16,270
 クリスマス献金
 石田 美雪
 枚方
 くずは教会
 2口
 ￥13,000
 合計
 90口
 ￥1,250,057
 感謝いたします

瞬きの詩人

水野源三の世界 30

三浦綾子記念文学館特別研究員
森下 辰衛

天のお父さま

天のお父さまと
声を出して
お呼びしたい

声を出さないで
お呼びしても
お聞き下さると
信じているけれども

やはり
天のお父さまと
声を出して
お呼びしたい 1981

声（こえ）とは何でしょうか？手元の辞書によれば、「ヒトを含む動物の発声器官（主として口、喉）から発せられる音のことである」と定義されています。口から出る音はいろいろありますが、くしゃみや咳は声ではないでしょう。では、意味のある音？でも、音楽の基礎練習では、例えば「あー」と意味を伴わない「声」を出す練習をしますから、意味の有無でもないようです。では口を使って意図的に発する何らかの意味または価値を持った音でしょうか？

英語でもフランス語でも声voice (voix) は文法の“態”の意を持ちます。受動態、能動態の“態”です。これは、他者（もちろん物の場合もある）との関係のありかたのことです。世界への向き合いかたと言っても良いでしょう。

声は“天のお父さま”との関係を一挙に変えてしまう魔法の鍵のようなものです。声を出すことで、その瞬間に、世界が変わることを、例えば昔話は良く知っていたし、源三さんも、どこかで気づいているのでしょうか。だから、「天

のお父さまと声を出してお呼びしたい」のです。

天のお父さまが、声を出さないでお呼びしてもお聞きくださる方であることは、分かっている。どんな心の声も聞き逃すことのない方だからこそ、私はお父さまに会えた。声のない私の声を聴いて、私のところに来てくださらなければ、私はお父さまにお会いすることは出来なかったのだから。

でも、源三さんは声を出してお呼びしたいのです。天のお父さまが、作法や形ある捧げものを要求される方ではないことも分かっている。でも、むしろだからこそ、声を出してお呼びしたい。お呼びしたいのです。呼ぶこと。誰かを求め招くこと。声というものの一番の本質は自分の存在を知らしめること（私はここにいます！）と、他者を呼ぶこと（あなたが必要です！）です。鳥の音がそうであるように。

それは歌うことと呼ぶことが不可分であるような、声です。独白者ではない、源三さんのような詩人の声も、まさにそのようなものでした。

「天のお父さま」とお呼びしたいのです。「神さま」でなく、「天のお父さま」と。「天のお父さま」は、神さまという方の別名なのではありません。名ではなく、呼びかける、天翔けるころそのものです。「天の」は場所でなく、激しく求め注がれる眼差しそのものです。「お父さま」は関係の説明や別名の提示でなく、自分をその方の子どもとして丸ごと投げかけてゆく情熱の純粹さです。

源三さんは「声に出して」でなく、「声を出して」としています。「声に出して」では、心の中の言葉が本質的に第一であり、「声」はそれの発現方法の問題にすぎないこととなりますが、「声を出して」では、「声」という実体あるものの存在が重要なだとわかります。

声（こえ）は、「乞え」「請え」「恋え」「超え」とも書くことが出来ます。懇願し、恋い慕い、そして遂には、遥かなる隔たりを超えてゆく魔法の翼です。一瞬にして時空を飛び越えて、その方の元へと飛んでゆきたいところが、源三さんの声なのです。



熊本地震のための

暖かいお支えに感謝して (5)

熊本アシラム 竹内一臣

つい先日、二人連れの青年が、ふらりとやって来ましたので、今日は夜勤だと思い、声をかけてみると、「会社を辞めようと思ってるのです

生がお出で下さり、話し合いは続きました。帰りの青年の顔は誠に晴れとして、「また遊びに来ます。」と元気に帰って行かれました。

が、その前に憩いの家というところへ一度行って見たいと思ってきました。」「と言われ、その場に居合わせたボランティアのお母さん方と一緒に輪になって話し合いました。

「私たちは皆、呼ばれたところで神に仕える義務を負っています。私の使命は一人ひとりに個人として任せ、一人ひとりを人間として愛することだと思っています。

た。「仕事の面でも面白くないが、それよりも僕たちの話は、職場で何によらず聞いてもらえないので寂しく、張り合いもなく。もう故郷に帰って仕事を探し、のん気に暮らした方が良いと思って辞める決心を固めたけれど、僕たちの話をこんなにも聞いてくださる人や場所があつて嬉しい、会社を辞めようと思ったが、もう一度よく考えてみます。」そこへ緒方先生

大切なのは人間です。私の頭の中には、群衆としての人間は存在せず、一人ひとりの人間としてのみ存在しているのです。もし群衆として人々を見ていたとしたら、今しているこの仕事は始めなかったことでしょうか、私は一対一のパーソナルな触れ合いが大切だと信じています。もし、社会制度の変革を神が望んでいると確信する人々がいれば、それは、その人たちが、そのように神にもかけていったらよいことなのです。私は誰にも頼ろうとは思いません。わたしは頼りとしているのは、唯一人、イエスだけです。」

神様はたえず私達に会ってくださいます。しかし、神様とすれ違う人が多いのではないでしょう。か、あの一人のハンセン病を癒されたことを知って、大声で神を賛美しながら戻って来て、足元にひれ伏して感謝したのは10人のうち一人であつたのです。その一人の癒された者と緒方先生の姿が私にはダブって見えます。弟子達が、うまれつき目の見えない人を見てイエス様に尋ねました。「先生、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか、本人ですか。それとも両親ですか、イエスはお答えになられました。

「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。」緒方先生の90年に渡る人生は神の業が先生に現れるためであり、神様の栄光を現す器として用いられた人生だどつくづく思います。

神様の御用にたつたために、神様が、我々に為すことを求められる5つの事。

1. 毎日聖書を読むこと。
2. 毎日、祈ること。
3. 毎日、あかしをすること。
4. 規則的に教会の礼拝に出席すること。
5. 喜んで充分に献金すること。

これらのことを日々、大切にして本当に生きておられる先生のお側で生きられる幸せを心から思います。

あとがき

今この編集後記を、ブラジルサンパウロで書いている。日本のちょうど反対側、こちらが朝なら、日本は夜。NHKの朝の7時のニュースをこちらの夜7時に生放送で見ている不思議さ。けれども神様の恵みの業は、確実にこのブラジルの地で、花開いている。この二週間あまりの間に、ニューヨーク日米合同教会での一日アシラム、サンパウロのブラジルアシラム、そしてアライアンス日系教会の教会アシラムを経験した。いずれ、それらの報告や感想はアシラム誌の中であると思うが、この後、3月の終わりに開かれるロスアンゼルスでのアシラムも含め、日本を離れ、遠く海外の地で生活される同胞とともに、み言葉に聴き祈る意義は大きい。どうか、このことを覚えて祈りを合わせていただき。

(恵)

アシラム誌は

ホームページでも

お読み頂けます。

そのための、郵送をキャンセルされたい方は、お手数ですが、センターまでFaxにてご一報下さいませ。

Fax 0748-133-8856

4月のアシュラムなど		
1(土) 4(火)	□サンゼルスアシュラム 榎本保郎牧師を偲ぶ会	0748-33-4030 アシュラムセンター
7(金)	阪神ミニアシュラム (主恩教会 PM1:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
10(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30) 奉仕者 榎本恵師	092-607-8251 樋口栄子姉
13(木)	常任運営委員会 (アシュラムセンター)	0748-33-4030 アシュラムセンター
14(金) 15(土)	三重アシュラム (グリーンホテル) 奉仕者 榎本恵師	0598-86-3939 小林茂男兄・佳子姉
16(日)	ちいば牧師記念チャペル夕礼拝・愛餐会 (PM5:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
18(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
19(火)	カフェちいば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30) 奉仕者 榎本恵師	075-643-2476 みんなのカフェちいば
21(金)	センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
24(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 PM2:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
25(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター-4F AM10:30) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
25(火)	桜美林リトリートアシュラム (桜美林大学荊冠 PM2:30) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
29(土)	阪神一日アシュラム (主恩教会) 受付中! 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター

5月のアシュラム予定	
熊本復興アシュラム	
日時	5月3～4日(水～木)
奉仕	榎本恵師
会場	熊本エミナス(空港近辺) 集会後、被災地訪問
申し込み	竹内一臣兄 096-242-1650
第25回 盛岡・秋田アシュラム	
日時	5月3～5日(水～金)
会場	盛岡「□デム」 参加費 14,000円
奉仕	榎本るつ子姉
申し込み	角谷晋次師 019-636-0285
第37回 関東青年アシュラム	
日時	5月3～5日(水～金)
会場	バイブルホーム
奉仕	溝口勝幸兄
申し込み	森戸敬子 048-768-3001
第4回 北陸・金沢アシュラム	
日時	5月19～20日(金～土)
会場	石川県青少年総合研修センター 参加費 10,000円
奉仕	榎本恵師 申し込み 石田哲夫兄 076-241-4409
第17回 愛知一日アシュラム	
日時	5月27日(土)
会場	日本バプテスト連盟名古屋 キリスト教会
奉仕	岩波久一師
申し込み	溝口勝幸兄 0562-47-0528

みことば

岡山聖書集会(無教会)
香西 信

「ことばの意味を開く(13)」

最近、私たちの信仰で大切なのは霊性と理性であるということに改めて実感しています。

私たちは聖書を正確に読むという努力、み言葉の真理を理性的に追求する努力を怠ってはなりません。神さまは聖書を通して私たちに知恵を与えてくださっています。神の知恵というのは「私たちが人生をいかに生きるべきか」という問いに対する答えを与えてくれるものです。また世界というものが神の言葉でできていること。このことから聖書のみ言葉を読み解くことは私たちに世界に対する有効な視座を提供してくれることがわかります。おそらくそれは私たちがキリスト者として現実を生き抜くための大切な武器になることなのでしょう。その意味で聖書を読むことが私たちの生活の中心になることは間違いのないと思われま

す。けれども、聖書という書物は聖霊という合鍵なしには開くことはできないということも事実であります。聖霊(パラクレートス)には教師という意味があります。つまり、み言葉の真理を教えてくれるもの。み言葉を開いてくださるのは聖霊であるということです。聖書は書物である(テキストである)限り、そのみ言葉をコンテキストから(前後の文脈から)正確に読む努力は大切です。これが聖書を理性で読むということです。と同時に、聖書のみ言葉がそのコンテキストから独立して、私たち一人一人に向けて語りかけてくる生きた命の水になるということ。それはどのように考えても聖霊の働き以外にないと言わざるをえません。

今回「ことばの意味を開く」という連載によって、その気づきを与えられたことは大きな感謝でした。これからも私なりにせつせと言葉の意味を開いていきたいと思っています。一年間本当にありがとうございました。

2017年5月以降のアシュラム予定

6月13日	埼玉一日アシュラム
6月21日 12:30 那覇空港集合～24日朝 (航空チケットは各自でお早め)	沖縄巡礼の旅 沖縄聖書教室
6月27～29日	第42回 教職アシュラム
7月22日	天上の友を憶える日礼拝
9月1～2日	新潟アシュラム(日程変更)
9月17～18日	九州アシュラム
9月25～27日	第14回 国際正義・平和アシュラム in 神戸
10月2～3日	山陰アシュラム
10月11～13日	第5回 日光オリーブの里アシュラム
10月27～28日	第18回 愛知一泊アシュラム
11月21～23日	第42回 京浜アシュラム
11月23～24日	第41回 阪神アシュラム(1泊)